

# “ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

(経済産業部)

|      |    |     |                    |
|------|----|-----|--------------------|
| 事業番号 | 20 | 事業名 | ファルマバレープロジェクト推進事業費 |
|------|----|-----|--------------------|

## 1 基本情報

|        |          |     |             |
|--------|----------|-----|-------------|
| 実施日/班名 | 9月8日 第2班 | 時間  | 14:34~15:32 |
| 担当課名   | 新産業集積課   | 事業費 | 157,000千円   |

## 2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

| 結果 | 一定の効果がある | 判定区分 | 県民評価者の内訳 |    |
|----|----------|------|----------|----|
|    |          |      | 大きな効果がある | 8  |
|    |          |      | 一定の効果がある | 20 |
|    |          |      | あまり効果がない | 1  |

## 3 県民評価者の意見

### (1) 見直し・改善策

|      |  |
|------|--|
| 目的指標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品化された医薬品、医療機器の年間の販売数、金額の推移が把握できるとよい。</li> <li>・今後期待される事業域であるがゆえにもっと具体的な数値による効果を見せた方が良いのでは。</li> <li>・成果が見えにくいため効果わからず。</li> <li>・とても大切なことだと思います。やはり目に見える指標や効果がほしいです。</li> <li>・成果のあるものの提示が必要なのでは？(10年間事業を継続しているので)推測だけではやはり判断ができない。</li> <li>・成果が出ているので、そのPRがもっと必要。</li> </ul>  |
| 対象範囲 |  |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬品(先端医療)の開発が必要。</li> <li>・産業構造の転換期の中で、中小企業を活用した事業としてさらに推進して頂きたい。</li> <li>・今後も成長の期待できる分野であり、雇用も含め推進願う。</li> <li>・企業(製薬会社)からの資金提供のあり方や、今後のファルマバレーセンターの運営方法を明確にしてほしい。</li> <li>・ある程度の成果がわかったが今後のビジョンに対しての事業助成がわからなかった。</li> <li>・がんに関することは確かに充実して欲しい分野ですがそれと同じ位高齢化についての研究、進歩も必要である。</li> <li>・医療機器など高齢者にやさしい現場が実現するために少しでも分かるように開発にとりこんでほしい。</li> <li>・将来医療分野以外にも県内事業創出のスキームを作り上げてほしい。</li> <li>・もっと静岡で「ものづくり」をしていく方向でなければいけない。静岡県というより全国的なもので静岡から(良い物は作ったりしているが)発信しなくてはいけないと思う。良い方向にしている感じではあるみたい。ものづくりに対して雇用も考えてほしい。</li> <li>・輸入による医療機器と国内製造の医療機器の生産額を項目別に分析し、輸入品に打ち勝つ製品を開発してほしい。</li> <li>・病院現場の声を一層ものづくりに反映できる仕組みができるといいと思います。</li> <li>・本事業は将来性が見込まれるのではないかと考える(医療関係は殆んど、うといですが)、今後その効果についての評価(follow-up)をしっかり推進してほしい。</li> </ul> |

事業内容

- ・隠れた人材も同時にさがして予算を増やして世界の日本にしてください。
- ・県職員を6人派遣しているが必要性が分からない。
- ・各機関がお互いに直接連絡を取り合うようなネットワークシステムが必要ではないか。この種の業界はスピードが必要だと思われる。間に行政が入ることで遅くなる事はないか。
- ・産、学、官、金でネットワークを作っているが実際に使用する一般人としての民をネットワークに参画させるべきではないか。
- ・他機関の評価を知りたい。活動指標が可能な専門知識を持っている人がいるなら良いがないのならばやい商品開発ができるとは思えない。
- ・他地域、他産業との関係はどのように位置付けられているかをもっと明確にしてほしい。
- ・製品化した商品がどれだけ売れているかだけでも教えてもらって、もっと広報、PR 活動を進めてもいい。
- ・ファルマバレーの言葉は聞いた事がありますが住んでいる地区が西部地区になるのであまり関心がありませんでした。予算も多いしやっている事も良い事だと思うのでもっと県の事業としてアピールしてほしいと思います。
- ・この県の事業の柱になると思っています。例えば、ある製品Aを作るとします。作るとなると試作化し製品化するという上でモノを図面CAD化しCAMに変換し試作品として作っていくのと同時に、知的財産を侵害しないためにも特許調査担当の課みたいなものの作成、及びスムーズな申請が出来るようなシステムみたいなものできないか。
- ・今私たちがこのプロジェクトに参加したいときにどのようにすればいいのかということが分かりにくいです。参入するための情報のオープン化やファルマバレープロジェクトの情報博覧会のようなものをツインメッセなどでの開催を考えてはどうか。多くの企業が参入するためのビジョンを展開できないだろうか。
- ・第3次計画の期間が10年と長いので途中での修正などをよく考えていただきたい。
- ・商品の販売内容の広報がないため効果判断が難しい。
- ・より効果を高めるため開発的補助だけではなく、優良製品には報酬等は考えないか？
- ・予算に見合った効果表現を考えるべきでは。
- ・ファルマバレーセンター任せになり、大半である専門的分野のチェック機能はあるのか。
- ・更に、隠れたい技術を持った中小企業の発掘に努め、本事業を推進すべき。
- ・特区というのが出たが、それにより地域をしばるのはいかがなものか。
- ・ファルマバレーセンターの今後の自立のためにどうしたらいいかというのを早めの段階で作り上げていった方が県民の理解も得られるのでは。

(2)その他の意見

- ・健康長寿県の形成のため、健康増進、疾病克服に努力している良い事業だと思う。
- ・利益追従の企業が手を出しにくい分野に先行して助成し実績があったことは良い。
- ・静岡がんセンターは東部にあるためか都内からの利用者が多いと聞きます。技術や腕を買われてのことだと思しますので喜ばしいことだと思いますが、県がこれだけの補助金を出していることの利点が静岡県民にフィードバックされているのでしょうか。医療機器会社の利益や国内での評価に結びついているのはわかりませんが、直接的に県民のためになっているのか気になります。
- ・がんセンターも必要です。医療品、医療機器開発につとめて難病患者をなおしてください。
- ・今回の事業レビューの中で理解しやすい内容、テーマでした。高齢化する社会になってきたのでやさしい社会にしてほしい。
- ・2020年のオリンピックが開かれるので合わせて頑張っていたきたいと思います。
- ・各機関等への訪問者は専門知識を有しているのか。素人が中間に入っても時間を無駄に消費するだけではないか。
- ・産、学、金の各機関はこの事業をどのように評価しているのか。
- ・他の事業の説明よりもすんなり理解することができた。よく課内で議論しどのようにすべきか全員が理解していると思えた。
- ・沢山の資料提供により勉強不足か年代の違いかもしれないが市町(しまち)とか専門用語でとまどうことが多く、事前勉強会で文言解説が欲しかった。
- ・産学官金の連携はうまく機能しているのか。

- ・学に浜松医大は含まれているのか（医療への対応）
- ・効果に具体的数字は出ていないが感触として効果が期待できると思われるので推進すべきである。
- ・人件費、運営費の削減計画はどのように考えているのか。（予算の多くを占めているため）
- ・プロジェクトに参画している12市町は参画することによりどんな「うまみ」があるのか説明して欲しい。なぜ全県では駄目なのか。
- ・今医療に関する産業はその営業販売が特に病院を通し大変な費用が動いている、県民の血税も投入される。だが実際に医療器具、薬の新薬は病院が積極的に売り込むため患者はいうままに利用している。いらぬ医療もある。ムリに服用してもっとひどくなることもある。長い介護を通じて便利な機材もあるが程々でよい。長生きがすべてでないから自然治癒をもっと広めたい。
- ・予算額が定数化してるのではないか？
- ・センターから来年度は大きな研究をしたいので高額予算要望はなかったのか？
- ・1日の中で、この話が一番わかりやすかった。